

発行所
東武よみうり新聞社
〒343-0843
埼玉県越谷市蒲生茜町3-9
電話 (048)987-0611
Fax (048)987-0614

読売新聞オンライン
毎朝の新聞購読料金+0円
紙面ビューアー機能で 毎朝5時に更新
紙面をそのまま表示
お申し込み・お問い合わせはお近くの
読売新聞販売店まで

よみがえれ!少年野球

越谷の教師ら
応援組織設立

部活動、用具などサポート

4/9にイベント 女子チーム設立も

プロ野球が開幕し、甲子園の選抜高校野球もたけなわだが、少年野球、とりわけ中学野球の人氣が今一つ。危機感を抱いた越谷市の中学教諭らが、4月1日、「野球の街越谷実行委員会」を設立する。サッカーなどに比べ、中学の野球部員は減少の一途。3校連合でチームができるケースも。不人気の原因には、用具や衣類代などに費用がかかるという側面もある。同実行委はこうした課題の解決に取り組み、野球の楽しさを未経験の子どもたちに知ってもらうイベントを積極的に催し、女子野球の普及にも努めるとしている。関係者は「越谷を『野球のまち』と意欲を燃やしている」。



「野球の街越谷実行委員会」を設立する長瀬教諭(中央)と越谷市子育て連の飯島名誉会長(左)、齋藤・越谷東高教諭(右)



多くの子どもたちが参加した「埼玉baseballフェスタ」(実行委員会提供)

同実行委設立を呼びかけたのは、同市立大袋中学校の野球部顧問、長瀬翼教諭(34)。同教諭によると、市内15中学校の野球部で現在、単独チームは12校。残

り3校でようやく1チームを構成している。市内の小学生野球チームは、約25年前に150あったのが今では34チームに激減しているという。スポーツや娯楽の多様化をはじめ、地上波テレビのプロ野球中継の減少や、長時間の練習などを子どもたちが嫌う傾向などが背景にあるという。さらに、「野球に興味があっても、グラブやバット、ユニホームなど用具や衣類購入に費用がかかることが、入部へのハードルを高くしている」と指摘する。

し、保護「子どもをい」と考7%に上大きな行委準備前10時30の民間の2 SSP LD)でヨイベ(吉本團未経験者対象にボウチ方のし師は、おタルテンん(46)躍した元岡保幸さ長瀬教諭実行委員

独自に「防犯のぼり旗」

草加せざき
防犯パト隊

防犯協の旗撤去で

「草加八潮地区防犯協会(浅井昌志会長)は、草加警察署管内で設置していた「防犯啓発用のぼり旗」が、強風などで倒壊事故などを起こすケースがあるため、今月いっぱい協会の旗を、のぼり旗を全て撤去することになった。

これに対し、草加市内の自主防犯活動組織「せざき防犯パトロール隊」(浅古八郎隊長)は、のぼり旗は一定の防犯効果があるとして、独自に「防犯パトロール実施中」と大きく記し、同隊名も書いた、のぼり旗約100本を自費で製作し

て、活動区に設置した。街頭の「のぼり旗」は、各地でも強風により倒れるなどして、事故の原因となるケースがあり、設置者の法的責任が問われることも懸念されている。このため、同協会と同警察署が協議して、同協会名のあるのぼり旗を全て撤去することを決めたという。

こうした中、2001年7月から活動を開始している同隊は、のぼり旗がひっ

市内公園2か所に防犯カメラを寄贈

越谷ライオンズ

「越谷ライオンズクラブ」(久保貴史会長)は4日、越谷市の大吉公園(同市大吉)と千間台第二公園(同市千間台西)の2か所に設置する街頭防犯カメラ(2台計60万円)を同市に寄贈した。同日、福田晃市長を招いて2か所で寄贈式典を行った。写真は大吉公



定期間経過すると上書きさ

れる。録画データは、法令の定めに依りて捜査関係機関などから提供依頼があった場合だけ使用している。大久保雅章・前年度会長(49)は「防犯カメラが市民の皆さまの安全・安心に

多彩な桜見頃に

越谷市から定使野整備されカンヒザラが満開の目を奪真。同緑道面整理事は、延長には、カヒガンヤノ、オオ